



REINANZAKA SCOUT CLUB



2014年
3月25日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinzakasc.o.oo7.jp/>

No.46
20周年記念

スカウト担当教職となって

霊南坂教会伝道師 東 昌吾



私は昨年4月
から霊南坂教会
の伝道師として
就任するまでは、
スカウト運動に
関わったことは

ありませんでした。しかし、その制服とネッカチーフには懐かしさを感じました。私は小学生の頃、緑の少年団という活動に参加していました。ご存知の方もおられるでしょうが、緑の少年団とは、主に緑化活動・自然についての啓発活動を行っている、国土緑化推進機構が親団体の組織です。私はその活動の中で、植樹をしたり、緑化活動についての話を聞いたり、オリエンテーリングや、パネル展示、募金活動等をしてきた記憶があります。その緑の少年団もスカウトと同じ制服を着て、ネッカチーフをしていたのです。私はその活動の中で自然を大切にすることを学びましたが、スカウト運動では、更に社会や人を大切にすることを学ぶ機

会が多くあるように感じています。

スカウト運動の創立者、ロバート・ベーデン・パウエルは、牧師の息子であると聞きました。私は彼の言動が、その牧師である父親の影響を受けているように感じます。この1年間ボーイスカウト、ガールスカウトの団委員会で、毎回聖書の話をしていただき、ベーデン・パウエルの言葉の中に、キリスト教の視点が影響していることを強く感じたのです。それは、より良き社会を目指し、人ひとりを大切にする視点です。

霊南坂教会のスカウトは、チャーチスカウトとして、キリスト教という背景をもったスカウトです。自分と他者、その両方を大切に、人ひとりを大切にする。私たちは、そのようなスカウトだと思うのです。チャーチスカウトであるという意味を考えつつ、活動できるということは幸いなことだと感じます。私も、その一員として加えられていることに大きな喜びを感じています。

*Press forward with Love
which is the most powerful
agent of all. That spirit of
Love is, after all, the spirit
of God working within you.
B.-P.'s Outlook*



ベーデン・パウエル卿の言葉

他の何よりも力強い使者である愛をもって前進しよう。愛の精神は、すなわち、あなたの中で働いている神の精神なのです。

スカウトに接して間がない者の素直な印象として、スカウトの互いに助け合い、また社会への奉仕を忘れない姿勢は、人生においてよい学びとなり、実践へと繋がっていくのではないのでしょうか。

スカウトクラブ発足20周年を迎えて

スカウトクラブ会長 小崎忠雄



教会のスカウト運動が50周年を迎えるとき、OG・OBによって、子どもたち、孫たちのスカウティングを後援し、霊南坂スカウトの結束をめざして「霊南坂スカウトクラブ」が発足して、今年20周年を迎えました。このことは感謝です。いう迄もなくスカウティングによって育てられた

人格が、いかに有意義であるかを自覚し、「一度スカウトであったら生涯スカウトだ」のスカウト精神は、神と人に求められ、喜ばれる人間を社会に育てる活動だと信じます。

世界の家族として、一人一人の希望であり幸福につながる平和な民でありたいと願い、これからはスカウト運動を推進してまいります。

2014年度
霊南坂教会 スカウトサンデー



スカウトサンデー礼拝 説教

「きみがすきだよ、ともだちだよ」

(使徒 20・7～12)

押川幸男主任牧師

スカウト運動を最初に初めた人はベーデン・パウエルという人です。彼の父親は、教会の牧師でした。ベーデン・パウエルさんが住んでいたイギリスは、山や湖や川が近くにある自然豊かなところで、彼は、キャンプなどの様々な経験をしました。その経験が素晴らしかったので、自分と同じ体験を多くの友だちにしてもらいたいと思って、スカウト運動を始めたのです。スカウト運動は、友だちに素敵な体験をしてもらいたいというベーデン・パウエルさんの思いが広がって、「きみがすきだよ、ともだちだよ」と友だちの輪がヨーロッパそしてアメリカ、さらにはこの日本のこの霊南坂教会の友だちにまで広がってきたのです。

夜の礼拝中、パウロさんの説教が夜中まで続き、それを聞いていた一人の青年が眠くなり 3 階の窓から落ちたということが書かれています。スカウトのみんながそ

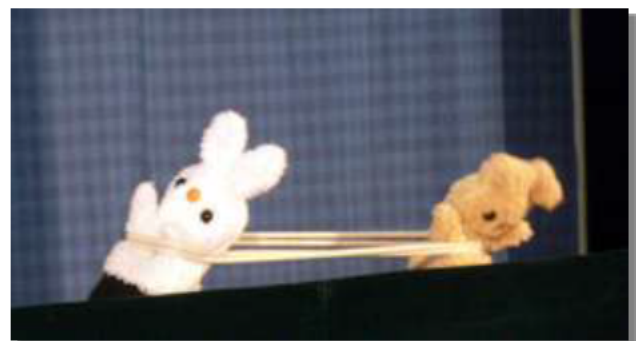
の場にいたらどうしますか。みんなはすぐに1階に駆け下りて、救急の処置をするでしょう。パウロさんもそうしました。みんなは死んだかもしれないと思っていたら、パウロさんが青年の上にかがみこみ抱きかかえて「いや大丈夫、まだいのちがある」と言ったのです。そして実際に、その青年は起き上がって再び3階に上り、話しが始まり、そして食事があり、この青年にみんなは慰められたようです。

私たちはつらいこと、きびしいことが起こると、すぐ「もうだめだ」とおもってしまいます。自分の失敗に「自分はもうだめだ」とつぶやいたり、他人の失敗をみて「あいつはだめなやつだ」とつぶやいたりします。私たちの生きている社会、学校は、そのような声が渦巻いていて、その声に押しつぶされそうになったり、生きる希望を失ったりします。けれども、教会はそういう世の中にあって、「騒ぐな。まだいのちがある」という言葉を聞くところです。

1 週間の初めの礼拝によって、私たちのしなびた心を御言葉というアイロンできれいにしていただき、神さまの愛に押し出されて、これからも安心して歩んで行きましょう。

スカウトサンデーにスカウトクラブからプレゼント

3階ホールにて「豚汁・おにぎり・ゼリー」での愛餐会のあと、1階ホールでスカウトクラブ提供の人形劇“わけちゃんのお楽しみげきじょう”を開催しました。



小崎美和子 ブラウニー

スカウトサンデーのれいはいの日に、あいさん会の食事の後、『わけちゃんのお楽しみげきじょう』を見ました。大きな大根やのっぺらぼうのこわい話などのパネルシアターも楽しかったです。けど一番楽しかったのは、人形げきです。わんこちゃんとびよんこちゃんが電車ごっこで、二人ともうんてん手をしたくて、はんたい方こうに行こうとしてダン！とたおれるところがとくにおもしろかったです。

また、見たいなあと思いました。

大喜びの
スカウト！！



2014年度 霊南坂スカウトクラブ スカウトサンデー集会報告

2014年2月23日(日)スカウトサンデーの午後、和気瑞江さんの「わけちゃんのお楽しみげきじょう」をスカウト達と楽しんだ後、1階ホールで2014年度スカウトサンデー集会を開催しました。

昨年に続き、クラブ旗に向かって全員起立「礼」をした後、スカウトサインをして、ガールスカウトの「やくそく」とボーイスカウトの「誓い」を行い、「霊南坂スカウト団歌」を斉唱して開会式を行いました。

総会は、倉持雅人兄の司会進行で行いました。議案 2013年度活動報告 田中新二、2014年度活動案 田中新二、会計報告は大槻敬太郎兄の長期入院のため、後日報告することで全員了承し、予算案は過去2年を参考に作成して承認しました。

続いて、お茶とお菓子と特大のイチゴをいただきながら意見交換を行いました。

- ① ガールスカウト団委員長・古谷久代さんから、OG/OBの各位が得意とする事柄を生かして、現役および保護者のみなさまにレクチャーなどして頂きたい・・・との要望がありました。昨年はガールスカウト団委員の小山和子さんに「デートDV」について講演して頂きました。(5ページに掲載)
- ② ボーイスカウト名誉団委員長・杉原正さんが現役を離れて“これまで見えていなかったこと”として話をされ、その中で、子供の教育費について、公立学校に通う子供の6~7人に1人が自治体から就学支援金を受けている現状で、GS/BSでの諸経費が他の団体に比べて高額であり、団としても今後、個人の経費負担を押さえる工夫をし、育成会やスカウトクラブなどの協力が欠かせない・・・と話されました。

2013年事業報告

1. 通年の作業として「スカウトクラブ会報」の発行とホームページの改訂及び更新。毎月第2水曜日にオープン集会を開催しました。
2. 8月には軽井沢にて「スカウトクラブジャム製造工場」を開設、特製ルバーブジャムを教会バザーで販売、収益はクラブ運営費に収納しました。
3. 本年度のクラブ会費を納入いただいた方には、クラブ旗をデザインしたサンクスカードを送付しました。

2014年度活動計画

1. GS古谷さんからの要望に沿って、スカウトクラブとして、どのようなことができるか検討いたします。
2. BS杉原さんの提案に沿って、原隊とも調整しながら、学校教育での奨学金のようなシステムが可能か検討してまいります。
3. 会員相互の親睦を図る行事などを計画します。
4. ホームページの充実、クラブ会報のカラー印刷を実施します。

「霊南坂スカウトクラブ」20周年によせて

スカウトクラブ副会長 西郷崇子

ボーイスカウトの日本連盟が組織に「スカウトクラブ」を加える計画が起きた時、当時の団委員長で連盟にも関わりの深かった故今田富士雄兄から、早速ボーイスカウト港1団にもスカウトクラブ部門を立ち上げたいと、すでに名称、規約案等を用意されてのご相談をうけました。“名称を「霊南坂スカウトクラブ」とするんだ!”と組織化に伴い早々に名乗り出られるようにと準備されていることを誇らしげに話してくださいました。折しも霊南坂スカウトは発団50周年を迎える4年程前のことでした。諸手を挙げて賛同したいところでしたが、“チョット待って!名称を「霊南坂スカウトクラブ」とするからには、ボーイスカウトのOBだけの「スカウトクラブ」ではなく、霊南坂教会には発団当時から常に折りにふれ共に力を合わせて活動して来たガールスカウトのOGもいるのを忘れないで欲しい”と提案して、知れる限りの関係者、OB・OGを

対象にアンケートの末、ひとたびスカウトに関わりをもったスカウト、リーダー、団委員、保護者たちが参加出来る、ボーイスカウト日本連盟の規定する「スカウトクラブ」ではない、独自の「霊南坂スカウトクラブ」を創設することになりました。50周年を迎える3年前のことで早速ボーイスカウト、ガールスカウト、スカウトクラブの3者で協力して50周年記念事業の準備をすすめたのでした。そして本年「霊南坂スカウトクラブ」は20周年を迎えることになったのです。

多くの祈りと支えをいただき、歩み続けられている感謝と共に20周年を機に、現団との更に密なるコミュニケーションと相互理解を図り、「霊南坂スカウト」の一員として活動を続けて行きたいと願っています。多様化した社会と多忙な若い方々の参加を得るのが難しい状態ですが、一人でも多くの賛同者と協力して下さる方が増えることを合わせて願っています。



20年前、私にとって伝説の人であったウィリアムさんが生存していて、BSの今田さんが50年間ずっと連絡を取っていたと知ったときは、さすがスカウトと驚きと感心をしました。そのウィリアムさんを50周年の行事にお招きしようと募金をはじめたのですよね。沢山募金が集まって喜んでいただけなのに、体調を崩されたウィリアムさんの来日は叶いませんでした。その時集まった資金を基に現スカウトのために何か支援をと始められたスカウトクラブ。団への援助やプログラムの提供にとっても感謝しています。

ガールスカウトの場合、学生リーダーは学校制度の変化によりなかなか時間が取れない、あとは社会人として仕事をバリバリこなしているリーダーがほとんどで、集会運営は本当に大変です。それに反比例してスカウト数はこのところ増えています。昔のように組単位の動きも可能になってきています。スカウト達が楽しい集会を過ごせるようにスカウトクラブの皆様のより一層のご支援、紙面をお借りしてお願いする次第です。集会は相変わらず土曜日の午後に行っています。

OG、OBの皆様、是非遊びに来てください。声をかけてください。いつでもおまちしています。

ボーイスカウト菊章授与式とビーバー入隊式

スカウトサンデーの愛餐会終了後、小礼拝堂で、大都心地区菊章伝達者や保護者、OBなどが参列して、小原晋(中3)、小島雅也(中2)君ら2名の菊スカウトが誕生しました。2名とも

霊南坂幼稚園卒園でビーバーからの霊南坂スカウトです。

BVS 隊(ビーバー)の新入隊員は向殿正宗(小1)君と大谷優太(幼稚園・年長)君の2名です。

スカウト活動に邁進して、伝統ある「霊南坂スカウト」として名に恥じない活躍に期待します。弥栄!!



ベーデン・パウエル卿のエピソード

柳 健一

*BP は1939年に「ノーベル平和賞」授賞が決まっていたのですが、戦争(第二次世界大戦)になり、ノーベル賞が中断され、残念ながら授与されませんでした。1941年(昭和16年1月8日)亡くなりました。

*父のパウエルはオックスフォード大学教授で、リベラルな神学者でした。当時の保守的な英国国教会と戦っていた。彼の主張は、科学的進歩はキリスト教の教義に反するものではなく合致するものである、というもので、チャールズ・ダーウィンは自著『種の起源』第三版の序でパウエル師の学説を高く評価している。(ウキペディアより)

*BP は来日した時、横浜の外国人スカウト隊(横浜1隊・隊長グリフィン)を訪問した。

*BP はピーターパンの話が大好きで、息子の名前を「ピーター」としました。



TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木1-3-41(アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂3-4-9

クリスマスキャロルの夕べ



ブラウニーリーダー 備後 千春

昨年12月21日、23日に東京ミッドタウン・フジフィルムスクエアにてクリスマスコンサートを行いました。両日共2公演の計4公演、出演スカウトはBS13名 GS23名でした。

各公演、クリスマスのさんびか9曲とアンコール1曲をたくさんのお客様の前で元気に歌うことができました。最初は緊張していた様ですが、徐々に慣れてきて、いつものスカウト達らしく歌えました。練習回数は少なかったのですが、よく頑張ってくれたと思います。協力して下さったスカウトクラブや保護者の皆さま、また、ヴィオラ、クラリネットで華を添えてくださった教会員の飯頭さんと寺川久美さんにも感謝申し上げます。喜ばしいことに、コンサートにいらして下さった方々からスカウト活動について多数問い合わせをいただいています。チャーチスカウトとして活動している私達、霊南坂スカウトの事を多くの方々に知っていただくことができ、またスカウト達にとっても良い経験となり、有意義な活動となりました。

ブラウニスカウト 宮崎 南奈

私たち『ガールスカウト東京都第4団』は12月21日と23日に東京ミッドタウンで『クリスマスキャロルの夕べ』にさんかしました。ページェントで歌った、「もろびとこぞりて」や、「きよしこの夜」を歌いました。当日は、2Fのひかえ室にしゅう合して、みんなで服そうチェックをしました。それから会場でリハーサルをしました。飯先生のヴィオラと備後リーダーのソプラノの歌もいっしょです。押田リーダーはピアノをひいて下さいました。

いよいよ本番です。ならんで出番を待っていたら、いつもとちがうすてきなドレスを着ているリーダーがみえて、ドキドキしてきました。私たちも、元気に大きな声で歌いました。歌いながら、ようち園の時の園長先生や先生たち、パパやママの顔が見えました。嬉しくなって、もっと元気に歌えました。

デートDVの講演会



ガールスカウト団委員 小山和子

昨年12月14日クリスマス会後に、他団の方もお招きし「デートDV」について講演する機会を頂きました。当日はシニア・レンジャースカウトを中心に46人の参加がありました(4団関係者25人、他団の方21人)。「デートDV」ということばを聞いたことがない方もおられるのではないかと思います。結婚していない交際中の若い男女の間でみられる暴力を指します。

ガールスカウト日本連盟では、世界145の国と地域のガールスカウトとともに「少女に対する暴力をなくす(STV)キャンペーン」を展開していますが、その第一弾として「デートDV」の啓発活動に取り組んでいます。そこで今回、鈴木充代リーダーの発案で4団でも取り上げることになり、レンジャースカウトの母であり、臨床心理士、法務博士である私が心理学的側面、法律的側面からお話しする役割を務めさせて頂くことになったわけです。

当日は、まず「デートDV」についての簡単なアンケートを行った後、法務省編集の「デートDV」のビデオを鑑賞しました。その後パワーポイントを利用しながら解説を加えました。DVというと、殴る、蹴るなどの身体的暴力を伴うものを連想しがちですが、精神的暴力、性的暴力、お金をせびるといような経済的暴力、相手を孤立させるというような社会的暴力もあります。交際相手の携帯アドレスを消したり、メールチェックをしたりするのもDVに入ることや、女性から男性へのDVも存在することは新しい発見であったと思います。

中高生のスカウトにとっては、今は身近なものではないかもしれませんが、しかしながら10代女性の10人に1人がデートDV被害者であることを考えると、友人から相談を受ける可能性も否定できません。そのときに「それはDVだよ。(交際相手に)NO!と言おう。専門家に相談してみては？」とアドバイスするだけでも、デートDV防止につながっていきます。またデートDVの正しい知識を身につけ、適切に対応できる人が増えることで、夫婦間でみられるDV被害も減少していくと思われま

す。講演会終了後にはSTVについて意見交換し、参加者全員で「人と人がよりよい関係をつくること」やジェンダーについて語ることができました。貴重な経験と有意義な時間をもてましたことを感謝致します。

＜バンドの青年たち＞

宣教師、宣教医、教育家たちの影響を得て、横浜、熊本、札幌などに相次いで青年たちがキリスト教信仰を得て活動を開始し、「バンド」と呼ばれます。

横浜では、S.R.ブラウンと J.H.バラの改革派の宣教師たちにより植村正久、井深梶之介、押川方義らが受洗し、日本最初のプロテスタント教会である「日本基督公会」を設立。「公会」は教会と同義の言葉であり、後に植村正久ら日本基督教団の中核をなしたグループでもあります。

熊本では、熊本洋学校のアメリカ人教師 L.L.ジェーンズの感化で、授業の傍らで聖書を自宅で講じ、霊南坂教会の創始者の一人である小崎弘道や金森通倫、海老名弾正、徳富猪一郎がいました。このバンドはキリスト教界のみならず、実業、教育、官界、医療などの多分野に進出します。学生たちは創立間もない同志社英学校に入学し、新島襄やアメリカン・ボードの宣教師たちから指導を受けます。熊本バンドと会衆派系諸教会との繋がりが生まれ、彼らの中から後に組合教会の指導者が輩出します。

札幌では、W.S.クラークの指導を受けた札幌農学校の生徒たち、彼を招いた開拓使長官の黒田清隆の反対を押し切ってキリスト教的人格教育を施し、その感化で1877年3月に1期生16名全員が信仰を表明し、続いて新渡戸稲造、内村鑑三ら2期生15名が加わり、後の無教会グループの源流となり、札幌バンドと呼ばれます。

＜霊南坂教会の成り立ち＞

霊南坂教会の設立年代と関連して特に注目しておかなければならないことがあり、それは霊南坂教会の発端となった1879年が、実は日本のプロテスタントの伝道が開始されて丁度20年後にあたり、また最初のプロテスタント教会が誕生して7年後に相当することです。

1872年(明治5年)3月に日本最初のプロテスタント教会が横浜に設立され「横浜公会」となります。東京に最初の教会が設立されたのは1873年9月、長老派の教会で築地にある「築地新栄教会」で、1878年末(霊南坂教会が誕生するまでの)までの約5年間に約20の教会が設立されています。

霊南坂教会の設立に欠くことのできない要因があり、第一は熊本バンドから同志社に至る流れ、第二に関西を主な拠点とし会衆派の流れをくむアメリカン・ボードの影響下にあった初期の教会やその動き、第三にそれらと

関連して舞台を移し、そこで結成された「群羊社」の動向で、これらが相互に関連しながら霊南坂教会を生み出す歴史的な要因となります。

霊南坂教会は、初めから霊南坂教会という名称があったわけではありません。1879年(明治12年)12月13日、熊本県の熊本バンド(熊本洋学校の青年たち)出身で同志社英学校(現在の同志社大学の前身)第1回卒業生である小崎弘道牧師(当時若冠23才)と11名の青年たち(群羊社など)によって京橋区新肴町14番地(現在の銀座4丁目と数寄屋橋の中間の通りを約100メートル北寄りの辺り)の簿記夜学校の一室において教会設立式が行われ、「新肴町基督教会」の名称が付けられました。

教会が最初に突き当たった難問は、集会場所の問題であり、その仮集会場を確保するにあたり、先ず京橋区南鍛冶町(東京駅八重洲南口辺り、小崎牧師の居地)、そして京橋区元数寄屋町に移転。1882年4月には芝区新桜田町(虎ノ門から新橋に向かう右側)に移り、“流浪の旅”、“放浪の民”とは、この時代の教会を指している言葉であり、新桜田町に移ってからは「新桜田基督教会」と改名された。同年9月7日には麻布区仲ノ町にあった「日本基督教会」と合併し、新たに「東京第一基督教会」と改称して仲ノ町の「日本基督教会」の会堂を使用して再スタートします。

霊南坂教会が専用の会堂を初めて持ったのは、1886年(明治19年)8月1日。赤坂区溜池霊南坂町14番地と溜池榎坂町5番地3号の購入されていた土地に、木造瓦葺平屋建150㎡の新会堂が建設され、その献堂式が行われています。総工費は、机、椅子、オルガンその他の備品を含めて1,440円余りで、土地代金を含めると総額2,172円余りの事業で、教会員の募金とアメリカン・ボードの宣教師やその他の特別寄付を合せて1,672円余りであったため、不足金の約500円は借金をして1892年までの6年間かかって返済しています。そして5年後の1891年(明治24年)10月3日、東京第一基督教会は定期教会総会で「霊南坂教会」の名称に変更されました。

＜鐘楼のある教会＞

1947年2月、霊南坂教会においてスカウト活動が始まった草創期は、団歌にあるように“霊南坂に聳え立つ鐘楼”にあったスカウトルームを中心に活動をしていました。赤レンガの教会は、六本木の市三坂を溜池に向って下ると正面にその美しい姿がありました。その教会は写真などで見ますが、そのレプリカが現教会の礼拝堂のホワイエに置かれています。

1917年(大正6年)5月25日付の東京夕刊新聞によると、「新しくできた市内の最高塔」との見出しで以下のような記事が掲載されています。

『「浅草で一番高いのが十二階、その次は蔵前の煙突」と相場が決まっていたが、段々高い物と競ってきて、神田駿河台のニコライ堂が海面から計ると一番高いと言われていたのが、今度赤坂榎坂町5番地の高地の上に百余尺ある霊南坂教会なる五層楼ができたため、遂にこの教会が市内最高塔の月桂冠を獲得することになった。その地が市ヶ谷、目白の高台や愛宕山よりも高く、その上に高樓を建てたのだからひとたびこの高塔に昇って市街を瞰下すれば、東は下谷浅草は勿論、十二階は足の下にあって本所深川は一目に見える。西は青山の御所を初め、墓地から練兵場、南は芝公園から品川の台場の方まで何の遮る物もなく見晴らされ、北は四谷見附、九段坂の銅像から早稲田の涯まで見下ろすことができ、実に市内の大観をほしいままにすることができる。この天国に近い高塔は昨年(1916年)5月に起工し、牧師館、本館、附属館の3館で6万余円が全部寄付によったものである。開館するまでには3ヶ月計りを要するとのことで大講堂(注:礼拝堂)は600人を容れることができ、館内には老人会、青年会、婦人会、日曜学校教室、夜学校室、幼稚園教室、牧師室、応接室、事務室、研究室、音楽室、食堂等十数種に分たれ、辰野金吾博士(注:旧東京駅、日本銀行の設計者)、葛西萬司博士の設計にかかるゴシック式の赤煉瓦で飾られる壮観なものである』。そして9月15日(土)に新会堂献堂式が行われています。

教会の草創期を中心に歴史と建物について述べましたが、外形的ではなく中味である伝統(tradition)について改めて確認しておきたいと思います。

<tradition → 伝統>の翻訳

我が団や霊南坂教会の歴史から「伝統」について考えてきましたが、ある新聞の<翻訳語事情>のコラムの中で、東京大学斎藤希史教授(中国文学)の[tradition → 伝統]の解説は、大変興味深いので付記します。

『明治から大正にかけての英和辞典を見ると、traditionの訳語には「口伝」「伝説」もしくは「交付」「引渡し」などとあるのが一般的で、大きな辞書になると「慣習」や「因襲」も見られるが「伝統」という語はまず出てこない。そもそも tradition はラテン語の tradere (渡す、伝える) に由来するから法律用語としての財産の引渡しも含め、伝えることや伝えられるものが語議の中心である。(中略)一方漢語としての「伝統」は、もっぱら血統や学統を伝えること、もしくは伝えられた血統や学統のことで、いわば系図の表

すことのできるようなものであった。tradition と重なるところがないわけではないが、方向はかなり違う。系統という意識が強いのである。(注:いまの岩波漢語辞典では、歴史的に受け伝えてきた〈とくに精神面の〉思考・行動様式と解説)

「tradition」と「伝統」が結びつくのは、大正も半ば以降のこと。自然主義に対する伝統主義、民族の伝統文化などのような言い回しが目立つことから推せば、守るべき価値のあるものであることを強調するために、単なる伝承や伝説を超えるものとして「伝統」が登場したと考えられる。昭和に入りますます使われるようになるのも、日本の「伝統」が連続と続くものとして強く意識される時代だったからだろう。現在でも「伝統」にともなう動詞は「守る」が多い。しかし tradition の肝心なところは「伝える」ことにある。“誰から伝わり”、“誰かに伝える”。そして“何を”、“どう伝えるか”は、いま生きている私たちに掛っている。』私たちは、このことを念頭に置いてその「伝統」は、伝えるに値するものか。血統や学統の「統」を守ることとこだわってしまい、本当に伝えなければならないものを見失っていないか。永い歴史をもつ教会にある我が団にあっては、大きなことであれ、小さなことであれ、この「伝統」の意味を真摯に受け止め、このことを決して忘れてはいけなそうと思料します。ともすれば昔のことを懐かしく思ったり、また昔の時代を慕わしく思ったりする懐古的に落ち入らないよう注意しなければなりません。

<継承すべきこと>

歴史の中から「伝統」を考え、「言伝え」また「手渡す」という語意が大切であること、そして「tradition」の翻訳を通して「伝統」の様々なことを知りました。とくに「言い伝えられるべきもの」は、単に「外形的」なものだけでなく、その「中味」であることに注目しなければなりません。教会は、常に主イエス・キリストを正しく運び、生命をかけて守り、正しく宣べ伝えていたか、その意味で「伝統ある教会」であったかが問われています。

我が団は伝統ある団として、これらのことにどう取り組んできたのでしょうか。またこれからどのようにこれに取り組んでいくのが重要な課題になります。

3年前に公益財団法人に移行したボーイスカウト日本連盟の定款に、〈目的〉として“この法人は、世界スカウト機構憲章に基づき日本におけるボーイスカウト運動を普及し、その運動を通じて青少年の優れた人格を形成し、かつ国際友愛精神の増進を図り、青少年健全育成に寄与することを目的とする”を定めています。

その憲章の第1条〈定義〉では“スカウト運動は、創始者によって考案された目的、原理、方法および以下に述べる事項に従って、性別、出生、人種、信条による区別なく誰をも対象とした、青少年のための自発的で、非政治的な教育的運動である”としています。そして第2条の〈原理〉では、“スカウト運動の、全ての加盟員は「神へのつとめ」、「他へのつとめ」、「自分へのつとめ」の原理を反映し、各国スカウト連盟の文化や文明に適切な言語で表現され、世界機構によって承認されたスカウトの「ちかい」と「おきて」を順守することが要求され、またそれによって導かれる。スカウト運動の創始者によって当初考えられた「ちかい」と「おきて」は以下のものである。”と定め、その雛型が提示されています。

「伝統」として“伝えるもの”また“手渡すもの”が単に外見的(例えばスカウト教育法の一つである班制度)なことにとこだわって、その中味である「神へのつとめ」、「他へのつとめ」、「自分へのつとめ」、この「三つのつとめ」が凝縮され具象化された「ちかい」や「おきて」の決意や実践を私たちスカウト関係者の日常生活や活動から放棄してしまうことのないようにしたい。創始者の理念や憲章の中味を私たちが正しく運び、生命をかけて守り、正しく伝えられるか、その意味において我が団が「伝統ある団」であるか、が問われています。また同時に宣べ伝えられてきたことが、スカウト一人ひとりに受け継がれ、活かされているか、いまが検証するときであります。

＜グローバル化がすすむ中で ～おわりにかえて～＞

グローバル化がすすむ時代にあって社会を生き抜く力を養うことに学校教育で重点的にその取り組みが進展しています。「ヒト」、「モノ」、「カネ」が国境を越えて自由な動きをするなかで、スカウト運動は国を超え

た地球的な 이슈を直視すると同時にスカウトが活動するその地域の課題を青少年とともに、また時代とともに、そして社会とともに、取り組まなければなりません。

イノベーションを含めて大きく変革する社会にあって、未来を拓くことに向けて日本のスカウト運動はどうあるべきか、変革すべきことは何か、について真摯に向き合い、日本のスカウト運動に大胆に取り組む姿勢がいま私たちに求められていると考えます。

かって創始者ベーデン・パウエル卿が第1次世界大戦後のスカウト運動の在り方を大きく変革し、平和のスカウト運動に転進したことも銘記しなければなりません。偏狭な視点でスカウト運動を捉えるのではなく、俯瞰的な視野に立つことがいま求められています。

これまでのボーイスカウト研修会や団会議でも変革に向けて「不易流行」や「温故知新」を取り上げてその言葉の持つ意義を確認してきました。

変革に関しては、外見的な「組織改革」や「制度改革」のレベルを超えて、変革の中味となるべき私たちの「意識改革」が一人ひとりに強く求められています。過去と現在、現在そして未来と続く歴史的な視点、その中での「伝統」の真の意義を捉えることが先ず必要であります。そして過去から現在、そして未来と続く時間の中で世界は常に変化を続けています。そしてその変化は、私たちの行動の結果としてもたらされます。つまり、現在の世界(社会)は過去の行動の結果であり、未来の世界(社会)は今日の私たちの行動によって作られていくものであります。より良い未来の世界(社会)を創造するためには、自らの行動の未来に対する責任を認識すると同時に、より積極的な変革をもたらす行動を選択し、実践していく能力を身につけていくことが必要であります。

グローバル化がすすむ社会で明日を生き抜く有為な青少年を教育し、また育成するスカウト運動に関わる一人として私たちは、継承と変革についても勇気をもって取り組むことが必要であると思います。

このとき“神よ、変えられるものを、変える勇気を。変えられないものを、受け入れる冷静さを。そして両者を識別する智恵を与え給え。”の米国、神学者ニーバーのこのことばを想い起し祈ります。

(参考資料)

豊南坂教会 100 年史

日本プロテスタント・キリスト教史 土肥昭夫

キリスト教ハンドブック (改訂版) 佐藤陽二

紙数の関係で2回に分けて掲載しました。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄

SHIMAUTA PA

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

霊南坂教会「第1期小学生組ボーイスカウト」

川並光昭君・菊田方晴君を偲んで

遠山兼宏



川並光昭君



遠山 菊田方晴君

太平洋戦争が終わった1945年(昭和20年)8月から1ヶ月半程経った10月。閉鎖されていた港区立西櫻小学校は再開されました。虎の門一帯は同年5月26日の都心への最後の空襲で一部は焼失を免れましたが殆どが焼けて野原となってしまいました。そして約1年が経った頃、5年生の担任立田篤行先生のクラスから8名(青木義明君・石田隆一君・岡田茂君・川並光昭君・菊田方晴君・斎藤忠雄君・長沢進宣君と私、遠山)が選ばれボーイスカウト活動に参加することになりました。青木、石田、岡田、遠山の4名は戦前から琴平町か櫻川町に住んでいて疎開し、終戦により元の場所に戻り、川並・菊田・斎藤・長沢の4名は他の地区からの転入でした。選抜され数回の集会後、霊南坂教会の中学生組と合流して正式発隊となりました。

霊南坂教会や今井隊長宅での集会、各大会、ハイキング、キャンプ等の行事は、今迄発行されている東京第4隊・港1団記念誌などに記録されている通りで、終戦後の荒廃した世情の中で少年期の私たちには全てが新鮮で楽しく興奮させられるものでした。8名中5名は私立中学校へ進学し、川並・菊田・遠山の3名は新設の区立港中学校に進学しました。高校へ進学する迄の3年間、3人は月曜から金曜までは学業に専念し、クラブ活動(スポーツ)にも共に参加し、土曜日

はスカウト活動、日曜日は教会学校に出席し、充実した一週間を共に過ごしていました。

その後それぞれが違った道に進む頃から会う機会も少なくなりましたが、社会に出て菊田君が栃木県の女子校の教師を経て名古屋でステーキ店を開店し、川並君がご両親の開設した聖徳学園に兄上と共に学園の発展の中核として活躍している頃から折にふれて交流が再会されました。

菊田君とは中学時代の級友たちとディズニーランドへ行った時、私の亡妻とアトラクションを共にしていて迷子になり大騒ぎになったこと。私が大網白里町に住んでいたころ級友数名と共に夜遅く「今から行くから・・・」と云って来訪し酒を飲みながら明け方迄談論風発、雑魚寝をしたこともありました。

川並君とは聖徳学園の行事に招かれたり、個人的な飲食の会に誘われて楽しい時を過ごした後、三田の彼宅にお世話になったことも数多くありました。

菊田君は古稀を過ぎた頃、繁盛していたステーキ店を人に譲り引退し、部屋から中部山岳の山々が見える高層マンションに引っ越し夫婦でゆっくり過ごすので「年賀状は書かないからよろしく」と案内をもらって暫くした一昨年逝去の知らせをいただきました。そして今年1月に川並君の訃報に接しました。

70年近い間、友誼に厚い交遊を続けてきた二人を亡くしたことで、身体の中に大きな穴が空いたような悲しい思いが未だに続いています。

ネックチーフをつけてのスカウト活動は短かったのですが、ブラザースカウトとしていつまでも私の中にいる二人です。

川並光昭君、菊田方晴君両名の安らかな眠りを心から祈りつつ

合掌

返信はがき (スカウトサンデーの案内から抜粋)

馬場 典子

私にまでお知らせ頂きありがとうございます。感謝!!久しぶりに礼拝に出席させていただきます。母(91才)ともども元気です。皆さん仲間に見えるのが楽しみです。

可知 節子

いつもお世話になります。よろしくお願い致します。

矢澤 宏子(内山)

67年の重みを感じながら年長さん年代(テンダーフット)のお手伝いを少し致しております。

真木 壮一郎

たまには顔ださないと・・・会費おさめないと・・・と思っております。この日東京に居ましたら参加させていただきます。

大内 真人

皆様に宜しくお伝えください。

後藤田 淳子

ご案内状ありがとうございます。日頃「若い若い」と云われていたましたが、後期高齢者のお仲間入りして人さま並に少し足腰が弱って参りましたが前向きに明るく人生を楽しむ事をモットーに日々頑張っています。スカウトサンデーに参加出来ます事感謝です。皆様にお目にかかれず事を楽しみにしています。

斎藤 文雄

仕事の都合上未定です。出席出来る様であればいずれかに出席したいと思います。萬石と近々六本木でお店をやっているピンちゃんの前へ食事に行く予定です。杉原さんも元気ですごしている様です。皆さん元気でお過ごしでしょうか？今思えば10代の頃が一番素晴らしい時だったと思います。

小宮 忠紀

ご無沙汰しております。スカウト活動からは遠く離れた状況に感じていました。人と人とのつながりは大切だと思っております。お陰様で健康に感謝しています。

中谷 和子

昨年11月より聖歌隊のお仲間に加えて頂き、礼拝に出席しています。この様な形で霊南坂に戻って来れた事、とてもうれしく思っております。

塚田 洋子

インフルエンザA型になったり、地域の委員をしていたりで、野暮用に追われてすっかりハガキを出すのを忘れていました。前日に「ババランチ&学」で「内部被爆を生き抜く」のDVD鑑賞とお話をしますので、体力が持続出来ないかなあ～と思います。どうぞ皆さまによりよくお伝え下さい。教会に集うことができることはめぐみ多いことです。

石田 隆一

元気に毎日を送っております。マッカーサー道路も3月には開通し虎ノ門地区も更に開発が進み住民の居ない街に変わって行くのが、つらく淋しい気がいたします。

清水 裕

近況：相変わらず神奈川連盟の副コミッショナー（進歩担当）をやっております。欠席ですが、ご盛会をお祈りしております。

小田島 典子

毎年参加させていただくこと楽しみにしております。総会でのおやつは今年は何かな？・・・と楽しみにしています。

笠川 由佳

バザー、みなと祭りなど楽しませていただいています。久しぶりにスカウトサンデー礼拝に出席を楽しみにしています。ありがとうございます。

半田 貴久

いつもご連絡ありがとうございます。何も役にたてなくて申し訳ありません。貴久は教会のオルガニストとして活躍しピアノの調律がしごとです。しかし現在病いのため全て休止して（日キ）茅ヶ崎南湖教会に週3回はオルガンの練習には行っています。母親能子は霊南坂教会の会員で月一回礼拝に出席しています。私の103才の実父のケアをしています。

谷本 祐子

午前中用事があり③より出席したいと思っております。よろしく願います。

遠山 兼宏

昨年末、杉原さんと久しぶりに（彼が日赤病院に入院手術の時以来）会うことが出来、楽しい一時を過ごすことができました。

松下 俱子(三木)

1958年に4団から分かれて発団した8団が55周年を迎えております。ご支援くださったすべての方々に感謝いたします。

飯田 誠子

いつもご案内をありがとうございます。お陰様で今のところ元気しております。所属している合唱団が4月初めにヨハネ受難曲全曲を発表するので、週一回の夜の練習2時間半に精を出しています。

依田 直純

会報いつも楽しく拝見させて頂いております。日曜日が休みでない仕事のため恐れ入ります。

杉原 正

いつもお世話ありがとうございます。正月早々体調を崩しましたが復調しました。団委員長を退いて1年半となり、久しぶりに団委員会に出席して短くお話させていただいたことを「今思うこと」として数ページにまとめスカウトサンデーのとき、配布できればと、いま加筆修正しています。一人でも多くのメンバーの出席を楽しみにしています。

臼井 純一

年末に発生したPC故障により、H.Pの更新がうまく出来なかった事が残念です。今後、新しいWindows8.1になればスムーズな更新が出来る様に頑張ります。

黒部 愛子

聖日礼拝出席を習慣にして居りますが老化現象が起きて祈りを学んでいます。いつもステキなご活躍のご報告とご案内をありがとうございます。

櫛部 ふじ

皆様お元気のご様子で嬉しいです。私は5月に91才になります。いつの間にか90才をすぎる年になってびっくりしています。最近は病気もせずこぶる元気ですが足が弱って歩行困難で自家用車(?)を押して歩いておりますが、頭の方はまだ大丈夫です!!

柳 健一

いつも素晴らしい企画をありがとうございます。皆様と会いたいのですが当日は欠席いたします。お手伝い出来ず恐縮です。

青木 義明

ゴルフの約束があり欠席させていただきます。何時もありがとうございます。

ワイボン・ルリ子(村越)

生憎当日は東京に居れず欠席させていただきます。盛会をお祈りしております。

日野 珠子(日下部)

現在読んでいる宮尾登美子の「きのね」に福吉町の霊南坂教会の描写があり懐かしく思い出しています。72才になった私は娘に追いまくられ孫達の夕食作りに励んでいます。

諏訪原 礼子(斎藤)

ご無沙汰しております。今年のバザーでは台風接近の心配をしながらでしたが、久しぶりに会うメンバーと楽しい時を過ごせました。又次回、皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。

縣 麻利子(五十嵐)

スカウト便りにて今年のバザーに向けて夏の軽井沢でジャム作りに励んでいらっしゃるお姿楽しく読ませていただきました。

笠原 章雄

当日は団(神戸15団)のB-P祭で欠席させていただきます。団では昨年4月から団委員長になり、神戸地区では地区コミとして奉仕させていただきます。

山口 房子(鈴木)

スカウトサンデー出席出来ず残念です。昨年ヨットで世界旅行中の川さんと40年振りにお会いしておしゃべりの花が咲きました。

山崎 亜子(伊藤)

被災地支援のキャンプ”ニコニコキャンプ”は今年2月のYMCA東山荘で第7回目になります。この準備の為、欠席させていただきます。

関山 真理子(川)

年末に足を骨折した主人のリハビリの経過を見ながら今年もクルージングの準備を進めています。当初の予定よりは遅れると思いますが、今年度の予定の大西洋横断に向けて焦らずにまずはリハビリをして完治をと願っています。

河合 潤子(萬井)

折角のお誘いですが、日曜日は伺えません。ご盛会を祈ります。

田村 真美子(津布久)

大病で手術をしてから5年近くになりますが疲れやすくなってしまいました。元気になるにしたら出席させていただきます。

金子 康子(加藤)

子どもたちが土日、野球と羽根つきをはじめたので、イベントに参加できなくなってしまいました。残念でしかたありません。遠くからスカウト活動を見守りたいと思います。

田中 節子(犬飼)

元気に日々忙しく過ごしております。ガール時代の友人とは年に2、3回会食(女子会??)おばさん会かな?をし、昔話しに花を咲かせ楽しんでおります。

足立 園恵(八木)

仕事、育児、家事と追われているうちに下の息子も4月には小学生です。地域のBSに入れてみたい・・・と秘かに思ってます。

金森 勝芳

残念ですが、教会総会のためどうしても出席できません。

小坂 洋子・秀一

GSでお世話になった娘の次女の結婚式で伊勢に参ります。久しぶりで家族の集まりです

太田 幸子

勤め先に元ブラウニー(団は違いましたが)の方がいらっしやいましたので、しばしブラウニー談議に花を咲かしました。また別にも現役でボーイスカウト活動をしていらっしやる方が居り、何故か必ず笑顔になる事が不思議です。

大岩 久(志水)

65年前のスカウトです。元気にしています。

若月 実江(光野)

昨年1月に念願だった霊南坂教会で結婚式を挙げさせていただきます。来月3月に出産予定です。お陰様で(皆)元気ですごしています。

町田 美佐子(板垣)

発足67年おめでとうございます。自分の干支の年をむかえ(72才)老夫婦で静かに暮らしております。

伊藤 由紀子

その日は予定で変更にならない限り前々から・・・申し訳ありません。バザーにはぜひ又伺いたいし協力させていただきます。

和田 富士子(鈴木)

私は息子たちが入っている墨田3団ボーイスカウトの団委員として、今もスカウト活動に関わらせていただいています。4団で覚えたソングは宝です。

田付 茉莉子(大内)

昨年3月に青山学院大学を退職し、(財)日本経営史研究所会長に専念しています。会社史の取材で昨年はベルギー、チェコ、トルコを回りましたが、今年は中国各地とアメリカを回る予定です。日本企業のグローバル化というか無国籍化に対応して歴史を描くのに体力が要ということが判りました。

2月23日は所属している合唱団白樺の総会で、一日中書記をしていますので欠席します。

片岡 孝

当日は千葉県連指導者研究集会出席のため欠席します。一昨年5月に卒業しサンデー毎日となり満一才になる孫と遊ぶのが楽しみな今日このごろです。

高玉 大

平成25年より桐谷斎場近くの介護デイサービス送迎ドライバーをやっています。

小林 孝江

私は元気で今でもビルの経営管理で忙しくしておりますが元気です。虎ノ門もどんどん変わり昔の面影が無くなってきました。長男直明は千葉に、次男は大阪で各々元気で忙しく暮らしております。

霊南坂スカウトクラブの歩み

定例催事 毎月、第2水曜日にオープン集会を開催、クラブの運営など協議しています。ぜひご出席ください。
 毎年、1月に合同「お餅つき」／2月スカウトサンデー／10月教会バザー
 12月に合同「スカウトクリスマス」を開催しています。

1994	2月27日	霊南坂スカウトクラブ誕生
	9月	合同キャンプファイヤー
1995	2／	スカウトサンデー・総会・講演会 エヴェレスト登頂 女性登山家”田部井淳子氏”
	4月22日	第5回ボーイスカウト研修会 「継承と創造」
	9月	合同キャンプファイヤー
1996	1月27日	第6回ボーイスカウト研修会 「世界の中の日本人」
	2／	スカウトサンデー・総会
	6月1日	バーベキュー大会 アークヒルズ ガーデンにて
	9月1日	親睦会 島唄楽園にて 現役リーダー・団委員・会員
	9月	合同キャンプファイヤー
1997	1月	第7回ボーイスカウト研修会 「視野をより広く」
	2月23日	スカウトサンデー・総会
	4月29日	霊南坂スカウト50周年記念式典・パーティー 教会・ホテルオークラにて
	9月	合同キャンプファイヤー
	12月13日	クリスマス・懇親会 ツム アインホルン 現役リーダー・団委員・会員
1998	1月17日	第8回ボーイスカウト研修会 「社会に貢献するスカウト運動」
	2月21日	スカウトサンデー・総会 チター演奏アンサンブル・アルペンローゼ スカウトクラブ会報 創刊号発行
	10月17日	東京都盲人福祉大会 ボランティア参加
	11月3日	東京湾クルーズ・パーティー ランチ・クルーズ シンフォニークラシカ
	9月	合同キャンプファイヤー
	12月5日	クリスマス・懇親会 トムボーイズ 現役リーダー・団委員・会員
1999	1月23日	第9回ボーイスカウト研修会 後援「21世紀(あす)に向けての青少年の役割」
	2月21日	スカウトサンデー・総会 盲動犬ベルナのお話 郡司ななえ氏
	3月13日	GS4団チャリティーコンサート支援
	7月31日	納涼の夕べ 隅田川花火大会観賞
	9月	合同キャンプファイヤー
	11月16日	サンガムのためのチャリティーコンサート協力
	12月4日	クリスマス・懇親会 ブォーナ・ボッカ
2000	1月22日	第10回BS研修会 後援 「学ぶこと」が「生きること」へ
	2月20日	スカウトサンデー・総会 フルートとお話
	9月	合同キャンプファイヤー
	12月9日	合同クリスマス
	12月9日	クリスマス・懇親会 永利菜館にて 現役リーダー・団委員・会員
2001	2月20日	第11回BS研修会 共催 「スカウト運動の使命」
	2月18日	スカウトサンデー・総会 楽器とお話“成城学園大学レストロ・アルモンコ管弦楽団”
	9月	合同キャンプファイヤー
	12月15日	クリスマス・懇親会 永利菜館にて 現役リーダー・団委員・会員
2002	2月24日	スカウトサンデー・総会 トロンボーン演奏 “スライド・マスター・G4”
	3月2日	第12回BS研修会 共催 「スカウティングは期待されているか」
	4月24日	総会で提案された「アフガニスタンのスカウト運動支援プロジェクト」の試行開始

2002	9月	合同キャンプファイヤー
	12月7日	合同クリスマス
	12月7日	クリスマス・懇親会 パストラル 現役リーダー・団委員・会員
2003	2月23日	スカウトサンデー・総会 和太鼓演奏 “武蔵野国府太鼓”
	3月12日	第13回BS研修会 共催 「人として生きることを学ぶ」
	9月6日	合同キャンプファイヤー
	11月29日	Dr. レシャードの講演と写真家内堀たけし氏のフォトディスカッション “アフガニスタンの今”
	12月6日	クリスマス・懇親会 トムボーイズ 現役リーダー・団委員・会員
2004	2月22日	スカウトサンデー・総会 マジック ショー グループ遠藤
	3月13日	第14回BS研修会 共催 「最近の教育行政の動向を考察する」
	4月29日	バスピクニック 昭和の森公園 20年ぶりに開催した(10周年記念)
	5月9日	「アフガニスタン・スカウトプロジェクト」は研究期間を終えスカウトクラブから独立
	9月	合同キャンプファイヤー
	11月29日	フォトディスカッションと講演 アフガン・プロジェクトと共催
	12月4日	クリスマス・懇親会 パストラル 現役リーダー・団委員・会員
	12月11日	合同クリスマス
2005	2月20日	スカウトサンデー・総会 四重奏 新交響楽団
	3月19日	第15回BS研修会 共催 「スカウティングの再生」
	3月	会報#18発行
	4月29日	バスピクニック 葛西臨海公園 スカウトクラブネッカチーフ制作 サポート隊発足
	6月	会報#26発行
	9月3日	合同キャンプファイヤー
	10月	会報#27発行
	10月22日	教会バザー
	12月	合同クリスマス
2006	2月19日	スカウトサンデー・総会 ジャズ演奏 コバヤシ・カルテット
	2月19日	懇親茶話会 現役リーダー 会報#28発行
	3月25日	日赤救急法講習会 サポート隊
	5月27日	カブ・GS Jr.合同ハイキング サポート隊
	6月3日	GS ソング 伝承・指導
	6月24日	第16回BS研修会 共催 「私に出来る事は何だろう」 会報#29発行
	7月8日	GS ロープワーク指導 サポート隊 霊南坂スカウトクラブ・ブログ立ち上げ
	9月2日	合同キャンプファイヤー
	10月7・8日	港区民祭り テント確保協力に参加
	10月28日	教会バザー
	10月15日	会報#30発行
	12月16日	合同クリスマス
2007	2月18日	スカウトサンデー・総会 琴と尺八演奏 ホサナ邦楽アンサンブル RSS 霊南坂スカウト合唱団発足 会報#31発行

2007	3月3日	第17回BS研修会 共催 「ギフト フォア ピース」 会報#32 発行
	4月29日	霊南坂スカウト60周年記念式典・パーティー 教会・ANA ホテル
	6月22日	GS レンジャー 料理講習 サポート隊 朱村
	9月8日	合同キャンプファイヤー
	10月5日	幼稚園プレーデー支援 サポート隊
	10月8・9日	港区民祭り
	10月13日	AJ-SEP チャリティーコンサート「マイク真木」 協賛
	10月27日	教会バザー 会報#33 発行
	12月15日	合同クリスマス 礼拝と祝会
2008	1月26日	スカウトクラブ新年会 神保町「新世界」
	2月17日	スカウトサンデー・総会 ポップス・バンド The Fuh
	3月15日	第18回BS研修会 共催 「スカウティングが目指すもの」
	4月15日	会報#34 発行
	8月6～10日	60周年記念合同キャンプ 那須野営場 記念樹(花水木)
	8月8日	ガーデンプッフェパーティー (H オークラ方面のシェフたちによる)
	9月	合同キャンプファイヤー
	10月18日	会報#35 発行
	10月25日	教会バザーにスカウトクラブ売店の参加
	12月13日	合同クリスマス
2009	1月10日	ピースパック作成配送
	2月22日	スカウトサンデー・総会 ジャズ演奏 EM Two フルバンドオーケストラ
	3月7日	第19回BS研修会 共催 「スカウト運動に欠けてはならない物は何か」
	3月15日	会報#36 発行
	6月6・7日	お泊まり役員会 軽井沢
	6月27日	上級救急法講習会 赤坂消防署 サポート隊
	9月	合同キャンプファイヤー
	10月	港区民祭り
	10月15日	会報#37 発行
	10月23日	懇親会 (遠来のOBを囲んで?) 浜松町 貿易センタークラブ
	10月24日	教会バザー参加
	12月12日	合同クリスマス
2010	2月21日	スカウトサンデー・総会 HIPHOP ダンス Run Crew リーフレット制作・配布開始
	3月13日	第20回BS研修会 共催 「スカウティングの源流を探る」
	3月25日	会報#38 発行
	3月	blog・HPの更新が強力メンバー参加により活発になる
	5月15日	「杉原団委員長を囲んで懇談会」 恵比寿ライオン
	5月29日	上級救急法講習会 赤坂消防署 サポート隊
	6月	霊南坂教会 HP にスカウトクラブのページが加えられた
	6月26日	スグ! 役立つ研修会 山田秀一先生 サポート隊
	9月4日	合同キャンプファイヤー
	9月11日	AJ-SEP、BS、GS 共催 スカウトデー講演会を後援 “Look Wide アフガニスタンを知ろう” 山口敦史氏

2010	10月15日	会報#39 発行
	10月9・10日	港区民祭り
	10月23日	教会バザー参加
	10月30日	新潟栄村キャンプサイト見学パスピク 渡邊誠兄宅 サポート隊
	11月19日	AJ-SEP チャリティーコンサート 後援
	12月11日	合同クリスマス
2011	2月19日	GS リーダー研修会 リーダーポイント取得のため
	2月20日	スカウトサンデー・総会 「ストリングラフィ」コンサート スタジオ・イヴ
	3月11日	東日本大地震
	3月25日	会報#40 発行
	6月25日	安全対策講習会 OB 渡邊誠兄 サポート隊
	7月23日	GS 友好団リーダー研修会 “放射についてと被災地宮城県支部の報告” 仲舘和夫兄
	8月2・3日	被災児童支援 “ニコニコキャンプ” 那須野営場 「にこにこれすとらん」 サポート隊
	8月20日	ニコニコ キャンプ反省会
	9月3日	合同キャンプファイヤー
	9月25日	会報#41 発行
	10月22日	教会バザー参加 栄村野菜など販売
	11月19日	第21回BS 研修会 共催 「これからのスカウティングを考える」
	12月10日	合同クリスマス
2012	2月18日	スカウトサンデー・総会 トランペット・パイプオルガン北村源三氏・飯靖子氏
	3月27日	会報#42 発行
	4月28日	65周年記念祝会 ”あしあと” 「にこにこれすとらん」 開店 “アメリカの遊園地”
	9月8日	杉原正兄団委員長退任慰労会 「導かれ支えられ」 自費出版された 恵比須
	9月21～24日	特製ルバーブジャム工場開設 軽井沢西郷宅 バザーで販売 30kg/125 瓶完売
	10月5日	会報#43 発行
	10月27日	教会バザー参加
	11月10日	第22回BS 研修会 共催 「明日のスカウティングに向けて」
	11月17日	GS 岡智子氏講演会 「今、若い世代に伝えたいこと」 ほほえみの会 共催
	11月30日	AJ-SEP チャリティーコンサート 共催 「森山良子アフガニスタンスカウトのために歌う」
	12月8日	合同クリスマス
	12月	スカウトクラブ blog.は終了 スカウトクラブ H.P.へ移行。 一層の H.P.の充実更新をすすめる<reinzaka-sc.o.oo7.jp >
2013	2月24日	スカウトサンデー・総会 手話パフォーマンス OG の手話パフォーマー長井利美姉 スカウトクラブ旗の制定・制作 OG 笹本信子姉デザイン 会費納入者へサンクスカード送付を制定
	3月9日	東日本被災地支援チャリティーウォーク 道中警護支援 GS ほほえみの会主催
	3月27日	会報#44 発行 サンクスカードを送付 スカウトクラブ旗デザインのカード
	8月30～2日	特製ルバーブジャム工場開設 軽井沢 西郷宅 バザーで販売 40kg/215 瓶
	10月9日	会報#45 発行
	10月26日	教会バザー参加
	12月7日	合同クリスマス
	12月21・23日	クリスマスキャロルの夕べ GS・BS 出演 撮影支援 六本木ミッドタウンにて
2014	2月23日	スカウトサンデー・総会 人形劇「わけちゃんのお楽しみげきじょう」和気瑞江先生

霊南坂スカウトクラブ 告知板

月例オープン集会

月例オープン集会にぜひご参加ください。現役時代に戻り・話して食べて・楽しい集会にしたいと計画しております。

原則毎月(8月は休)第2水曜日

(祭日に当たる時は第3水曜) 19時～
神谷町のエリーで開催いたします。
お問い合わせは
stp@nifty.com 又は 090-3341-7311
田中新二まで・
お待ちしております。



会報のカラー印刷への移行に際しての配色は上記クラブ旗をデザインした、OGの笹本信子さんのご協力をいただきました。

押川主任牧師が退任

押川幸男主任牧師と押川沢江牧師ご夫妻が3月末日をもって退任されます。温かく理解を持ってスカウト活動を見守り応援くださいましたことを感謝いたします。

御恵みのうちに新しい任地でのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

後任は、札幌北光教会より後宮 敬爾(ウシロク ヨシヤ)牧師が12月に着任されます。

スカウトクラブのホームページ

霊南坂スカウトの最新情報や昔懐かしい写真など、いろいろな情報が詰まったホームページを運営しています。

<http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>
伝言板コーナーに、ふるって投稿をお願いいたします。

皆様からの情報提供をお待ちしています。

この会報への広告出稿をお願いいたします。

サイズ：11.3×8.2cm

掲載料：1回3,000円×年2回予定
デザインなどはスカウトクラブでもお手伝いいたします。

これからのスケジュール

2008年8月ボーイスカウト那須野営場で霊南坂スカウト60周年記念合同キャンプを実施した際、記念植樹(花水木)を行いました。残念ながら枯れてしまいました。そこで「スカウトクラブ20周年記念」のバスピクニックを兼ね、再植樹を6月に開催すべく調整中です。

会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。

スカウトクラブへのメールは

御意見、ご希望、ホームページ、会報などへの情報は下記にお寄せください。stp@nifty.com

霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄 霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二 クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子 総括
会計・団	大槻敬太郎
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代 ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一

編集後記

約60年前、BS4隊では「スマイル」という機関誌を発行していましたが、手書きのガリ版でインクだらけになって印刷していました。その後、コピー機が出現、続いてパソコンで原稿が作れるようになり、この会報も過去10年間パソコンで編集して、そのデータを印刷屋さんに入れ、印刷機にかけて皆様にお届けしていました。残念ながら経費の点で白黒印刷でした。今回からパソコンの原稿をインターネットで関西に送り、安くカラー印刷ができるようになり、今後キャンプの写真やワッペンなど色彩豊かなスカウト活動がお伝えできると考えています。
田中新二

☆佐藤禮子さんより
(旧班長瀬・高橋弘長さんと同期)

今度、生涯に1冊の本と思い書きました。
『夫のボケは神様からの贈り物』です。

お読み頂いたら、この欄に伝言を頂ければ幸いです。

近代文藝社(1500円税別)
0120-29-9625 手数料200円
他、アマゾンなどでも買えます。

伝言募集中!!

事務用品・文具・オフィス家具
くさかべ
TEL 03-3400-0331 FAX 03-3400-0399

「つばきの伝言板」
コーヒータウンオソフ
リーダー小野さんの店
港区東麻布2-11-3 月～金
(080-5015-6897) 8:00～20:00
(03-3582-4944)
ランチ、コーヒー、お酒もの
法務局港出張所裏です。
待ってます♪